ライン導水ブロック〈小型水路内蔵型歩車道境界ブロック〉

NETIS掲載終了 KK-020004-VE　排水

ライン導水ブロックは、全延長にわたって集水口をそなえ、内蔵管路で排水するため、エプロンが不要になります。この構造によって縁石まで車道横断勾配を一定とすることが可能であり、路側部の有効幅員が広くなります。車道を通行する二輪車にとって、通行の安全性を確保することができます。

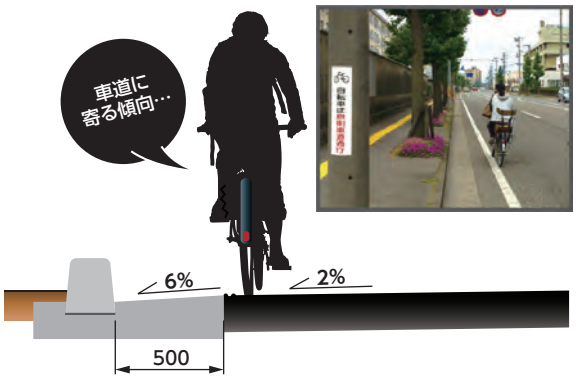
●特長

1. 有効幅員の拡大
街渠エプロンが不要となるので、路肩の有効幅員が拡がり、横断勾配折れが解消できます。また、舗装と街渠エプロンの境界で段差が発生しないため、自転車通行者、車両ともに安全に通行できます。

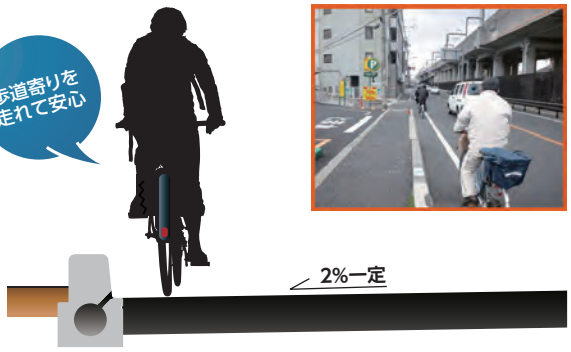
2. バリアフリー
ライン導水ブロックは、集水スリットによる連続集水により、路面より速やかに雨水を排除するため、水溜りを解消、水はねを防止できます。

自転車走行空間を拡大し、安全な走行を実現

▼L型街渠

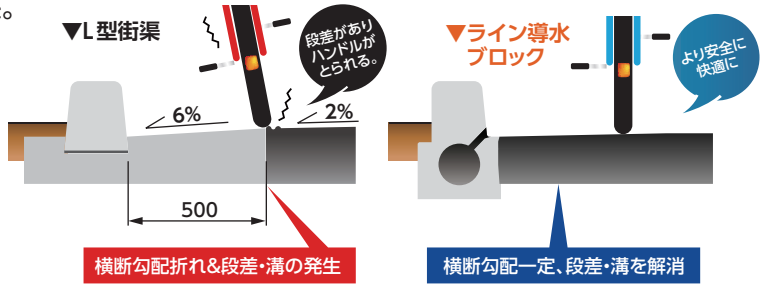


▼ライン導水ブロック



平坦性の確保、段差・溝の解消

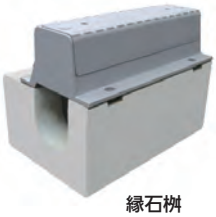
●横断勾配折れがなくなり、**平坦性**を確保。
●通行の妨げとなる**段差や溝**が解消。



滑りにくい構造

●雨天時**エプロン部での滑り**を解消。
●雨天時、**グレーチングでの滑り**の問題を解消。

（「縁石桝」は車道に突出しない構造のため）


縁石桝

▼L型街渠＋街渠桝

▼ライン導水ブロック＋縁石桝

交差点部の水溜り解消

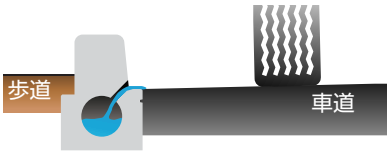
連続する集水スリットにより路面水を速やかに集水し、水溜りを解消します。

歩行者への水ハネ抑制

水溜りがなくなることで、水ハネを抑制します。

▼L型街渠

▼ライン導水ブロック



施工性向上　縁石と水路が一体型でコンパクトなため、施工性が向上します。

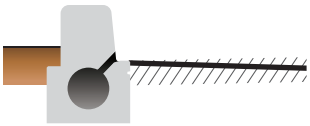
●工期短縮

工種が少なく工期短縮ができるため、沿道住民への負担（騒音・振動）を軽減し、現道交通への影響（渋滞、事故の可能性）も軽減できます。

▼L型街渠

【工　程】（基礎砕石工）
- ❶型枠工（縁石基礎）
- ❷コンクリート工（縁石基礎）
- ❸養生→型枠脱型
- ❹コンクリート工（エプロン）
- ❻養生→型枠脱型

▼ライン導水ブロック



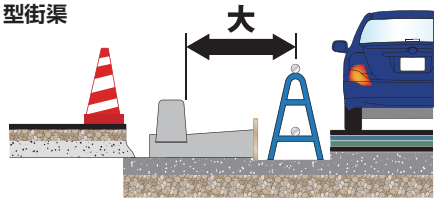
【工　程】（基礎砕石工）
- ❶路側工

1工程で縁石と水路の設置が可能

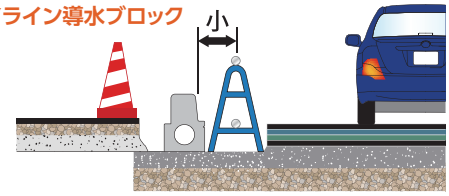
●交通規制範囲の縮小

交通規制範囲を縮小し、現道交通への影響（渋滞、事故の可能性）を低減します。

▼L型街渠

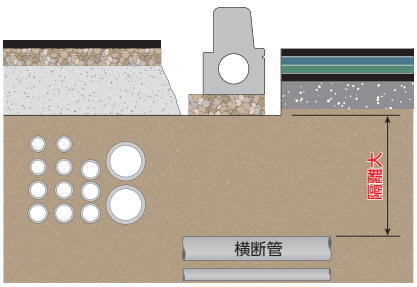


▼ライン導水ブロック



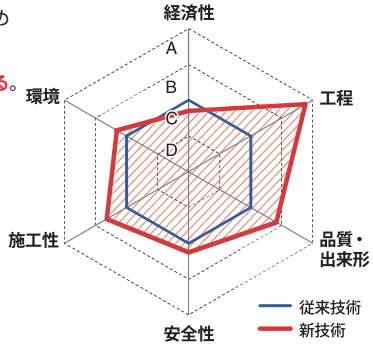
●地下埋設物との干渉リスク低減

断面がコンパクトなので地下埋設物との干渉リスクを低減できます。



●総合評価

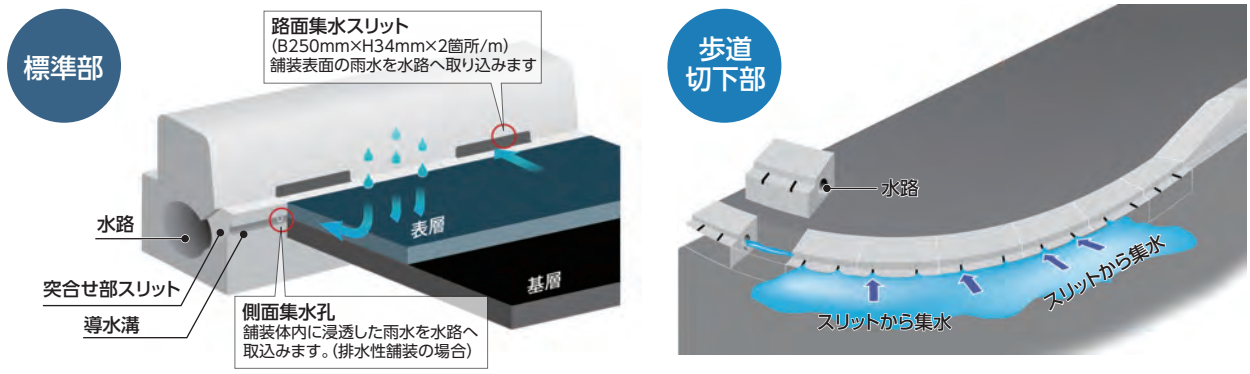
工　程	現場施工時の工種が少ないため極めて優れる。
品質・出来高	二次製品を使用するため優れる。
施工性	現場施工の減少により優れる。
経済性	従来技術と同等。
環　境	
安全性	



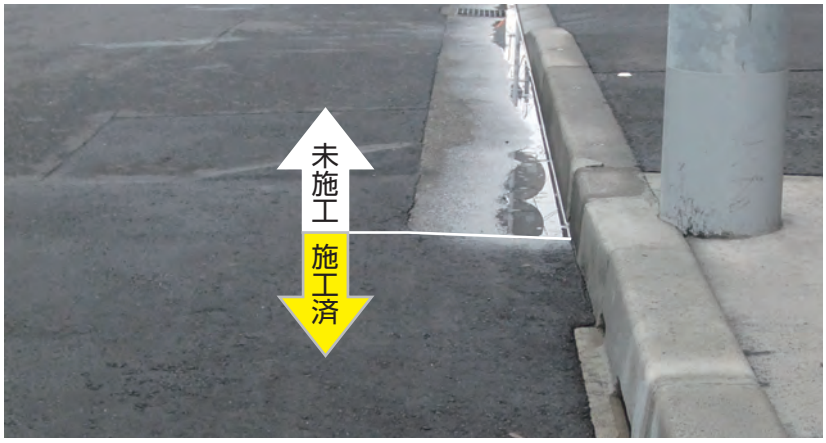
総合評価　従来技術より優れる。

※従来技術：現場打ちL型街渠
※NETIS「活用促進技術」の指定内容（2015.2）

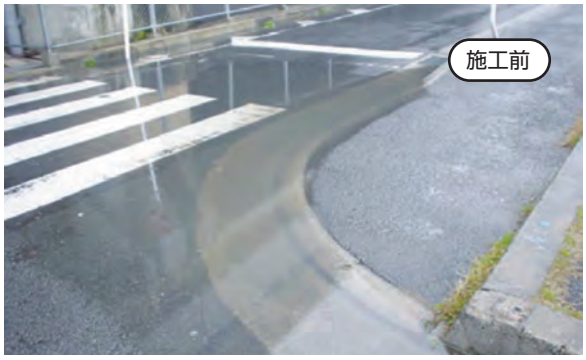
対応例



■標準部

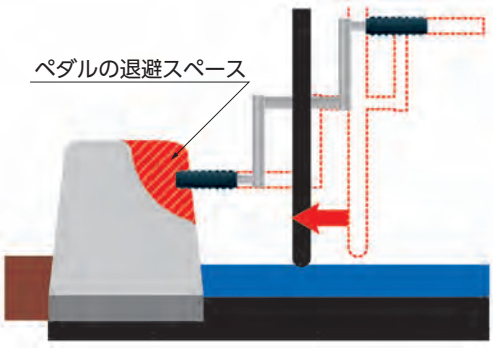


■歩道切下部

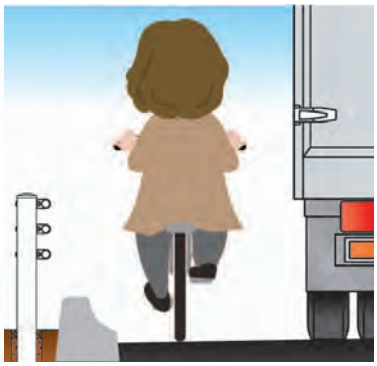


ペダ縁石:自転車対応街渠ブロック

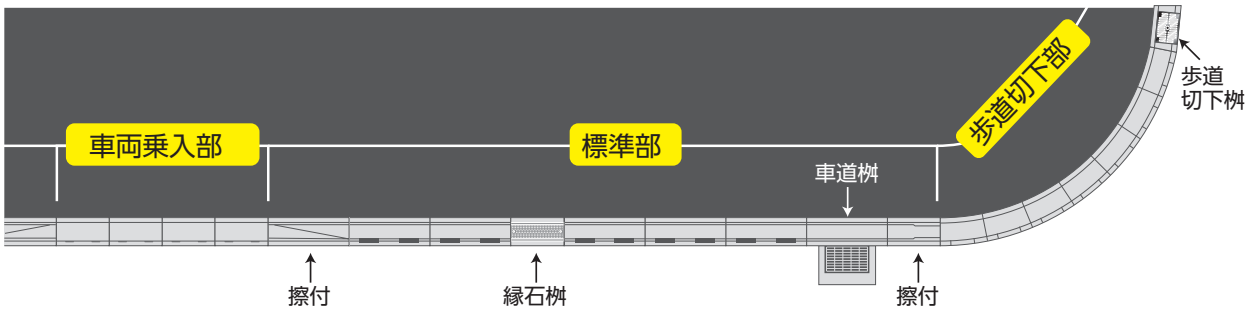
ペダ縁石は自転車ペダルの退避スペースを設けた歩車道境界ブロックです。ペダルの退避スペースが生まれ、自転車の転倒や車との接触を防止し、自転車利用者の安全性に貢献します。



路肩走行の安全性向上



主要品目



■標準　A･B φ150･φ200相当　L=1000　A:A種(縁石高さ15cm)、B:B種(縁石高さ20cm)

※点検口はL=600

標準B φ150　標準B φ200　標準A φ150 点検口

■歩車両面集水タイプ

■車両乗入(T-25)　φ150 L=600mm　テーパー1～5cm段差 フラット5cm段差

※φ200については別途ご相談ください。

フラット5cm段差　テーパー1～5cm段差 点検口

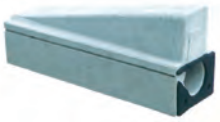
■擦付(車両乗入) φ150 L=1000mm

※φ200については別途ご相談ください。

標準B⇔テーパー1～5cm段差(左)

■擦付(歩道切下) φ150 L=1000mm

※φ200については別途ご相談ください。

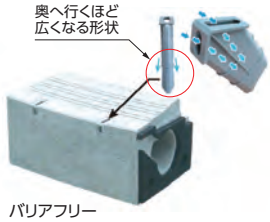


標準B⇔フラット2cm段差(右)

■歩道切下(T-25)　φ125 L=600mm　バリアフリー1cm･2cm段差 テーパー0～2cm段差 バリアフリー0～2cm段差(R1.5を除く)

切下部用ブロックは集水口にプラスチック部品を使用して集水機能低下を防いでいます。

奥へ行くほど広くなる形状



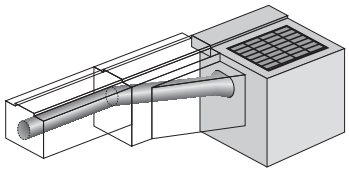
R1.5 I R2.5 I R3.5 I R4.5 I R6.0 I R12.0 I 直線
※φ150あり（直線のみ）

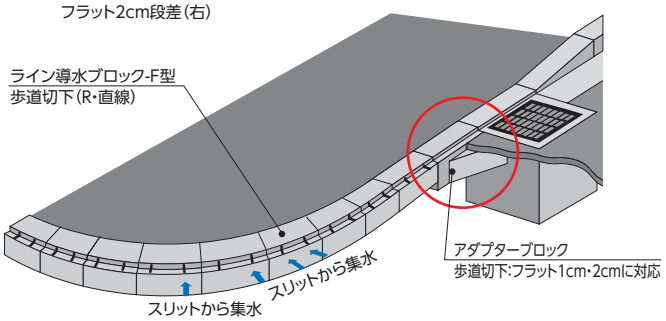
バリアフリー 0～2cm段差　フラット2cm段差 点検口(直線のみ)

■アダプターブロック(T-25)　φ125 L=600mm

※既設桝への接続が可能です。

フラット2cm段差(右)





バイコン製法の特性上、製品表面が粗面となり滑りにくく
スリップ転倒事故の危険性を低減します。

▼滑り抵抗値(BPN値)比較･･･湿潤時

一般的な製品	55程度
ライン導水ブロック	65～90程度

※アスファルト舗装：60～80
マンホール蓋：20～40

■縁石桝 (A･B) φ150･φ200 L=600mm

↑蓋の開閉時

縁石桝 φ150

■車道桝 (A･B) φ150･ φ200

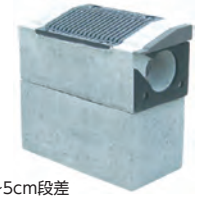
(T-25)

車道桝B φ150

■車両乗入桝 φ150 L=600mm

(T-25)　テーパー1～5cm段差 フラット5cm段差

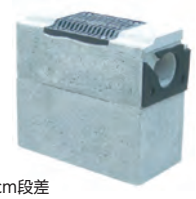
※φ200については別途ご相談ください。



テーパー1～5cm段差

■歩道切下桝 φ125 L=600mm

(T-25)　フラット1cm･2cm段差 テーパー0～2cm段差 バリアフリー0～2c段差



フラット2cm段差